二種電工 技能試験
迷わない段取りノート

候補問題13問（令和8年度）

令和8年度 下期（2026年12月12日・13日）の技能試験向け ／ 印刷しても、iPadなどに取りこんでも使えるPDF

この資料の目的は1つ。本番の40分で「手が止まらない」ようにすることです。
電気資格道場の無料ページで**複線図の描き方**を覚えたら、次はこの資料で**手を動かす練習**をします。

中身

1. 共通ページ：使い方／40分の使い方／ケーブルを切る長さの決め方／見落としやすい欠陥10／当日の持ち物
2. No.1〜No.13：1問につき2ページ
    - 1ページ目（作るときに見る）：材料チェック表・材料をこう切る（帯の図）・**作る順番と時間**・終わったらチェック
    - 2ページ目（作る前と後に使う）：描きこみ用紙（複線図の練習）・なぜこの長さ？・この問題で起きやすい欠陥・練習の記録表

この資料の配線図・材料・施工条件は、一般財団法人電気技術者試験センターが公表した「令和8年度 第二種電気工事士技能試験 候補問題」と「令和8年度 上期技能試験 問題」によります（各ページに出典）。欠陥の番号は、同センター「欠陥の判断基準」の番号です。ケーブルの長さ・時間・欠陥の選び方などの説明は、電気資格道場が作ったものです。
© 電気資格道場

使い方

共通

1. **まず無料ページで複線図を覚える。**サイトの「技能試験」ページで、13問の複線図を1手順ずつ見られます。
2. **描きこみ用紙で、何も見ずに複線図を描く。**描けたら、サイトの無料ページ（その問題のページ）で答え合わせ。iPadのGoodNotesなどのノートアプリに取りこめば、印刷しなくても何回でも描いて消せます。
3. **材料をそろえて、時間を計って作る。**1ページ目を上から見ながら作ります。ケーブルを先に切り、「作る順番と時間」のとおりに進めます。
4. **終わったらチェック表で見直す。**欠陥の数と時間を、記録表に書きます。
5. **40分以内・欠陥0になるまで、くり返す。**同じ問題を3回やると、手順がからだに入ります。

40分の使い方（目安）

やること	時間	コツ
1. 問題を読み、複線図を描く	5分	施工条件の「白」「スリーブ／コネクタ」「取付枠」に、色ペンで印をつける
2. 材料を確かめ、ケーブルを全部切る	3分	この資料の「材料をこう切る」の帯どおり。切ったら、ケーブルに行き先を書いておくと迷わない
3. 外装をむき、器具をつける	12分	ランプレセプタクル・引掛シーリング・スイッチなど、器具側から先に
4. 箱（ジョイントボックス）でつなぐ	10分	つぶす前に、スリーブの大きさと刻印を声に出して確かめる
5. チェック	5分	この資料の「終わったらチェック」を上から
のこり（あわてない時間）	5分	直す時間。ここがあると、あせらずにすむ

金属管（No.11）・PF管（No.12）・アウトレットボックス（No.7・8・11・12）の問題は、3の時間が少し長くなります。そのぶん、ほかを早めに。問題ごとの細かい順番と時間は、各問題の1ページ目「② 作る順番と時間」にあります。

この資料のことば

施工省略	図で点線の枠に入った所。器具はつけないが、そこまでのケーブルはつける。
VVF／VVR／EM-EEF／IV	ケーブルや電線の種類。VVFは平たいケーブル、VVRは丸いケーブル、EM-EEFは燃えにくい平たいケーブル（むき方はVVFと同じ）、IVは1本だけの電線。
渡り線	同じ取付枠に並んだ器具どうしを、短い線でつなぐこと。
介在物	VVR（丸いケーブル）の中に入っている詰め物。
イの線・ロの線	スイッチ「イ」から照明「イ」へ行く線のように、同じカタカナの器具どうしをつなぐ線。
3路の1番・3番	3路スイッチの端子の番号。0は電源か照明の側、1と3はスイッチどうしをつなぐ線。この資料では1番どうし・3番どうしでそろえます（1と3が入れかわっても欠陥ではありません）。

ケーブルを切る長さの決め方

つなぐ先	図の長さに足す長さ	わけ
箱（ジョイントボックス・アウトレットボックス）	**+10cm**	箱の中で線どうしをつなぐので、長めに出しておく
器具（スイッチ・コンセント・ランプレセプタクル・端子台など）	**+5cm**	器具の端子につなぐ分（材料が足りない所だけ+0。その問題のページに書いてあります）
電源・施工省略の所	**+0cm**	つながないので、足さない

例：図の長さ15cm、箱から器具まで → 15+10+5=**30cm**

「欠陥の判断基準」では、長さが図の寸法の**半分以下**だと欠陥です（2-2）。少し長いのは大丈夫なので、迷ったら長めに。

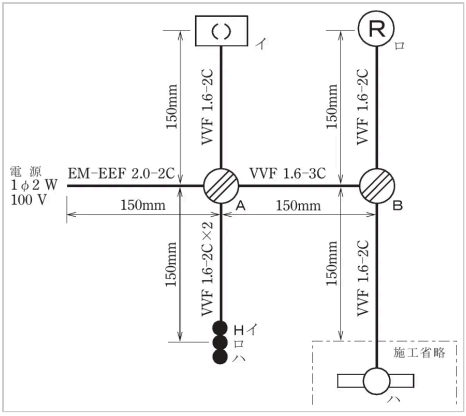
大事：この資料の長さは、令和8年度**上期**の本番の図の寸法で計算しています。下期の本番では寸法が変わることがあるので、本番は**その日の図の寸法で、上の決め方で計算**してください。練習のうちに、この決め方を覚えておけば大丈夫です。

No.1 3つのスイッチ（位置表示灯内蔵あり）と蛍光灯

⓪ 最初に：材料がそろっているか

☐	EM-EEF 2.0mm 2心 約25cm 1本	☐	VVF 1.6mm 2心 約90cm 2本
☐	VVF 1.6mm 3心 約35cm 1本	☐	ランプレセプタクル（カバーなし）1個
☐	引掛シーリングローゼット（ボディ（角形）のみ）1個	☐	埋込連用タンブラスイッチ 2個
☐	埋込連用タンブラスイッチ（位置表示灯内蔵）1個	☐	埋込連用取付枠 1枚
☐	リングスリーブ（小）（予備こみ）8個	☐	差込形コネクタ（2本用）2個
☐	差込形コネクタ（3本用）1個		

材料は 出典：一般財団法人電気技術者試験センター 令和8年度第二種電気工事士上期技能試験 問題No.1（表現を一部改変）。足りない・傷がある時は、始まる前に手を挙げて交換してもらいます。



出典：一般財団法人電気技術者試験センター 令和8年度第二種電気工事士上期技能試験 問題No.1（配線図）

① 材料をこう切る

もらったケーブルを、上から順にこのとおり切ります。帯の長さは、ケーブルの本当の長さに合わせてあります。

EM-EEF 2.0mm 2心 約25cm
25cm — 切らずに**そのまま**使う 電源→A

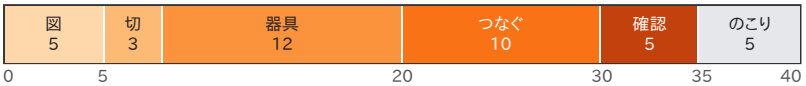
VVF 1.6mm 2心 約90cm・1本目
A→イ 引掛シーリング **30cm** | B→ロ ランプレセプタクル **30cm** | B→ハ（省略） **25cm** | あまり 5cm

VVF 1.6mm 2心 約90cm・2本目
A→スイッチ（1本目） **30cm** | A→スイッチ（2本目） **30cm** | あまり 30cm

VVF 1.6mm 3心 約35cm
35cm — 切らずに**そのまま**使う A→B

スイッチの渡り線（黒・2本）は、あまりのケーブルから取ります。

② 作る順番と時間（40分） 帯の数字は分



0→5分	**複線図** ロはまん中・Aスリーブ・Bコネクタ・白2か所に印
5→8分	**2心だけ切る** 上の①のとおり EM-EEFとVVF 3心は切らない
8→13分	**スイッチ3つ** H（位置表示灯内蔵）・ロ・ハの順。ロがまん中 あまりの2心から黒を出し、渡り線2本
13→15分	**引掛シーリング（イ）** 白を「接地側」と書いた穴へ
15→20分	**ランプレセプタクル（ロ）** 白を受金ねじ部の端子へ。輪は右回り
20→26分	**A スリーブ5か所** 外装をむいてから。スリーブは全部「小」 刻印：白・黒は「小」／イ・ロ・ハの線は「○」
26→30分	**B コネクタ3か所** 白は3本用、ロ・ハは2本用 ハ（蛍光灯）は施工省略で器具なし
30→35分	**チェック** 右の③を上から。白・ロ・刻印は必ず
35→40分	**のこり** 直す時間。早く終わっても、もう一度見る

時計で確かめる：8分 切った？ **20分** 器具はついた？ **30分** つないだ？
遅れていたら、チェックの5分は削らず、のこりの時間を使います。左の数字は、始めてから何分たったか。順番と時間は、電気資格道場が作ったためやすです。

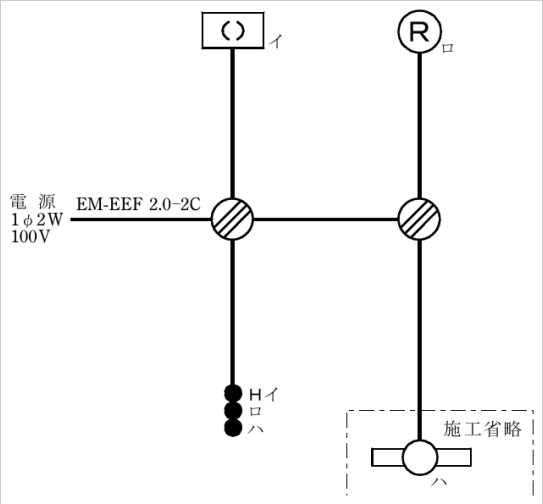
③ 終わったらチェック

☐	ランプレセプタクルの受金ねじ部の端子 に**白**
☐	引掛シーリングローゼットの接地側極端子（「接地側」）に**白**
☐	位置表示灯内蔵（H）のスイッチは「イ」（引掛シーリング）用
☐	**Aでつなぐ所** 白の線 → スリーブ 小・刻印「小」 黒の線 → スリーブ 小・刻印「小」 イの線 → スリーブ 小・刻印「○」 ロの線 → スリーブ 小・刻印「○」 ハの線 → スリーブ 小・刻印「○」
☐	**Bでつなぐ所** 白の線 → コネクタ 3本用 ロの線 → コネクタ 2本用 ハの線 → コネクタ 2本用

時間を食う所：EM-EEFの外装は固いので、ナイフを入れすぎないように。

No.1 描きこみ用紙（複線図の練習）

下の単線図を見て、右の白い所に複線図を描きます。描けたら、サイトの無料ページで答え合わせ。この紙は何回でも印刷できます。
答え合わせのページ：denki-shikaku-dojo.com/dainishu/gino/no1/



出典：一般財団法人電気技術者試験センター 令和8年度 第二種電気工事士技能試験 候補問題 No.1

④ なぜこの長さ？

図の長さ ＋ 箱の側 **10cm** ＋ 器具の側 **5cm**（施工省略・電源の側は 0）。本番はその日の図の寸法で計算し直します。

どこ	計算	長さ
電源 → A	15+0+箱10	25cm
A → B	15+箱10+箱10	35cm
A → イ 引掛シーリング	15+箱10+器具5	30cm
B → ロ ランプレセプタクル	15+箱10+器具5	30cm
B → ハ 蛍光灯（省略）	15+箱10+0	25cm
A → スイッチ（1本目）	15+箱10+器具5	30cm
A → スイッチ（2本目）	15+箱10+器具5	30cm

⑤ この問題で起きやすい欠陥

スイッチ「ロ」が取付枠のまん中にない	判断基準 11-4 ハ
Aの白（2.0mm 1本+1.6mm 2本）を刻印「○」でつぶしてしまう	判断基準 6-1 ロ
ランプレセプタクルの受金ねじ側に白がついていない	判断基準 4
EM-EEFの外装が固く、むくときに中の線を傷つける	判断基準 5-2

練習の記録（目標：40分以内・欠陥0）

回	日付	かかった時間	欠陥の数	次に気をつける所
1		分	こ	
2		分	こ	
3		分	こ	
4		分	こ	
5		分	こ	